

アートプロジェクト

アーティスト×スケータープロジェクト

スケートボードは1970年代にアメリカで生まれ、同時期に日本にも上陸した。千葉市内のスケートパークや公園がその文化の発展に寄与し、1993年には千葉パルコのMURASAKIPARKがオープン。近年では2022年に「X-GAMES」に合わせて「BLOCK PARTY」が千葉市で開催され、スポンサーの支援を受けて盛り上がりを見せた。スケートボードカルチャーは協調性に富んでおり、年代を超えたコミュニケーションが自然に生まれる文化として、地域の重要な因子とされている。

千葉国際芸術祭2025では、国道357号上部の空間を舞台に、スケートボードとアートを融合させたユニークな空間を展開。アーティストとスケーター双方の創造性が融合する場を創出する。

市民参加のかたち：参加型展示鑑賞・ワークショップ

